

きらきらひかる 中和っこ



それでも待ってる 夏休み

麦わら帽子は もう消えた 田んぼの蛙は もう消えた それでも待ってる 夏休み
姉さん先生 もういない きれいな先生 もういない それでも待ってる 夏休み (吉田拓郎 詞)

「吉田拓郎」という名前を聞いてピンとくる方は保護者の皆様より少し上の世代の方ではないでしょうか。

1971年に発表された吉田拓郎の代表曲「夏休み」。何人かの歌手にカバーされ、今もこの季節にラジオから流れてくる名曲です。でも今ひとつ歌詞の意味がわかりませんでした。

ある時、これが平和への願いが込められた歌だと知りました。拓郎が生まれた広島は1945年の夏、人類史上初めて使われた原子爆弾により、一瞬で多くの人、ものも失いました。麦わら帽子も、蛙も消えました。姉さん先生もいなくなりました。それでも夏はめぐります。夏休みを待つこの歌は悲しい反戦歌だったのです。

昭和はもちろん、平成さえ遠くなりつつある令和の夏。少し立ち止まって平和のありがたさ、命あることのすばらしさを親子で静かに語り合う夏の日もよいものです。子どもたちが指折り待っている夏休みまであと少し。

命とは自分が使える時間 ～日野原 重明(ひのはら しげあき)先生の言葉～

「いのちってなんでしょう？そう、生きているということですね。

では生きているとは、どういうことだと思いますか？

そして、いのちはどこにあると思いますか？」



日野原先生

やさしいことばでこう問いかけるのは聖路加国際病院 名誉院長 日野原 重明先生。

2017年7月18日に105歳で亡くなるまで、いのちの教育に力を尽くされました。

「いのちは、きみたちのもっている時間だといえますよ。」、答えはさらに続きます

「いのちは見えないし、さわれないし、感じられません。では時間は見えますか？昨日も今日も見えないけれど、寝たり、勉強したり、遊んだりするのは、きみたちの持っている時間を使っているんです。

時間を使っていることが、きみが生きている証拠、時間の中にいのちがあるのです。」

そしてもうひとつ、「だれかと生きていくこと」の大切さを説きます。

「人が生きていくうえで、もうひとつ大事なことがあります。それは『こころ』です。おたがいに手をさしのべあって、いっしょに生きていくこと。こころを育てるとは、そういうことです。自分以外のことのために、自分の時間をつかおうとすることです。」

「誰かの時間を自分のために使ってもらっていること」のありがたさを知ること。「自分の時間を誰かに使うこと」の大切さを自覚すること。それは日野原先生が医師として何十年にもわたり多くの命を見つめ続けた経験から得た、人生をよく生きるための大切なヒントなのです。

「今日きみが失敗して、みんなに笑われてなみだをこぼした体験は、いつか友だちが失敗したときに、その気持ちをだれよりもわかってあげられるためのレッスンなのかもしれません」

痛みを知ること、想像することの大切さを教えるこの言葉は大人の心にも響きます。

「自分はこんなに痛い思いをした。でも、相手も深い傷を負っていたんだと

気づくことができれば、和解の第一歩になると信じています。」

先生は人の痛みを知るところから、子どもたちに向けて平和への願いをこう語ります。

「戦争の経験のないきみたちには、いまでも世界の各地で続いている戦争で、人々がどれだけ多くのものをうしない、深い悲しみのなかにあるのかを想像するのはたしかにむずかしいことかもしれません。

(中略)けれども、きみ自身が感じる、痛いとか、つらいとか、悲しいとか、苦しいといった感覚や感情をたよりにしてほかの人のことを深く察するのに務めてみてください。」



通学路点検を実施しました

もうすぐ夏休み。おかげさまで7月初めまで大きな交通事故がなくこられました。先日実施した通学路点検の結果もふまえて、通学路の現状についてお伝えします。事前調査では危険を指摘する次の事がらに情報が多く寄せられました。

- (1) 交差点—信号がない・横断歩道がない
線が消えかかっている
- (2) 歩道がない・せまい
木の枝や草が伸びていて歩きにくい。
- (3) 交差点・横断歩道。雑草が伸びて見とおしが悪い。
栽培作物（たばこ・蓮など）の葉が大きくなると見とおしが悪い
- (4) 路面が荒れている。（でこぼこ）
水たまりがでしやすい

2 通学路点検の結果 危険箇所の例

交通量が多く、信号のない交差点。自動車の動きが複雑で児童が横断する際に危険。秋から冬の日暮れが早い時期はさらに危険度が増す。



JA 干潟支所東側

歩車分離でない信号。不用意に左折してくる自動車に、青信号で渡っている歩行者が接触する危険が考えられる。横断歩道の線も消えかかっている見えにくい。



松沢坂上交差点



干潟支所から南下する通称「花火道路」と広域農道の交差点今は草丈の伸びていない雑草も、やがて伸びて、子どもがすっぽりかくれてしまう。横断者からも自動車からもお互い見えないので飛び出しは危険。

安全のミニポイント

- ① 横断時、左右確認の徹底と手を上げること
- ② 青信号でも右左折車両に注意をすること。
- ③ 雑草や作物が人や車を互いに見えにくくしていることを知り、十分注意して横断・歩行すること。

明日の授業参観・学期末PTA、皆様のご来校を心よりお待ちしております。

中和小 歳時記（ダイアリー）

6月18日（火）栽培活動

2年生は生活科で植えたサツマイモの観察を、5年生はプランター水田の田植えをしました。栽培活動も順調です。

サツマイモもイネも大きく育っています。



2年生 しっかり根が出たよ



5年生 ここでも育つかな？

6月20日（木）6年 造形活動

6年生が造形活動「ひらいてみると」でアートしました。デザインした傘を雲梯（うんてい）やジャングルジムに飾り付け、空間をまるごと楽しみました。



かさはさかさがチャームング？



傘に飾りをほどこします

6月28日（金）授業研究会 道徳科

本年度第1回の授業研究会。2年・4年・6年が道徳科の授業を展開しました。講師は3年前まで本校の校長であった高野英之先生。「校長先生、ひさしぶり～」の歓声と大きくなった子どもたちとの再会に、先生もうれしそうでした。



2年生 進んで挙手して発言します



4年生 話し合いも上手です

7月1日（月）救命救急法研修

水泳学習のスタートにあわせて研修を実施しました。



救命隊の皆様の模範演習



心肺蘇生法とAEDについて学びます